

くずは青葉幼稚園 幼児の安全確保及び幼稚園の安全管理について

2001年6月8日、大阪教育大学教育学部附属池田小学校において刃物を持った男が乱入し、児童ら8人の死亡を含め23人が殺傷される事件が発生しました。またそれ以前には、1999年11月に京都市伏見区の小学校で不審者による児童の殺傷事件が発生しました。そして、一昨年12月には、京都府宇治市の事案、まだ記憶に新しい、寝屋川市中央小学校での教職員殺傷事案は、衝撃をあたえました。

すでに昨年度は不審者情報として保護者の皆様にお知らせしている通り、一件二件のみならず、多くの不審者事案が発生し、地域ぐるみでの対応が求められています。

これらを踏まえ、本園でも園児の安全確保及び幼稚園安全管理を徹底していたところですが、より一層の安全管理を図るため、下記の方策により徹底いたします。尚、本指針は、2001年6月15日に作成したものを2003年3月に改訂、続いて2004年1月に「危機管理マニュアルの第二版」4月に「同、第四版」を作成し、あらためて園児の安全確保を充実向け職員全員でこれを確認したものです。

危機管理マニュアル詳細をHPにて公開いたします。

保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

危機管理対応の概略

1. 日常の安全確保

- (1) 教職員間で安全確保について情報交換並びに共通理解を経常的に実施します。
- (2) 来園者・来訪者の確認は、下記の通り行います。
 - ・ テレビカメラを通じ来園者を目視確認
 - ・ 常時、インターホンで確認
 - ・ 原則として確認したあとでの入門とします。
 - ・ 入門・入園許可証の確認
- (3) 幼稚園周辺の不審者等、安全確保にかかわる情報を常時把握します。
- (4) 園児の登園前に教職員による園内巡回、点検を行っています。
- (5) 降園の際は、速やかに保護者に園児を引き渡します。（園門付近）また、速やかな帰宅をお願いします。思わぬ事故や緊急事態を少しでも退避するためです。
- (6) 幼稚園開放時（保護者参観、子育て情報室〔通称サロン室〕開放時、父母会活動時等）等園児以外の来園者に対する安全確保のため下記の方策を執ります。入門保護者に「入園許可証」の貼付を義務づけます。保護者の皆様のご協力があつて意義あることとなります。よろしくをお願いします。
- (7) 幼稚園施設における安全確保
 - ・ 園門の常時閉門。 ・ 緊急放送設備の点検
 - ・ 教職員は警報用ブザーを常備します

2. 緊急時の安全確保

(1) 不審者情報のある場合の連絡体制

- ・ 枚方警察に常時、安全パトロール実施の要請並びに連携を図ります
- ・ 緊急時の登園・降園の方法
 - a 緊急事態発生の場合、登園を中止する旨の緊急連絡を発報します
 - b 同上の場合、降園を一括でこれを行い、地域避難場所への誘導並びに保護者との合流を緊急連絡します。危機管理用緊急の携帯電話番号への連絡網を使用します。**緊急避難場所は、枚方市立樟葉北小学校（枚方市楠葉野田3丁目13-1）**とします。万一の場合、園児との合流場所とします。

(2) 園内に不審者侵入の緊急時

- ・ 直ちに全教職全員に情報伝達し、園児に注意喚起します。また、安全避難誘導、緊急通報の処置を至急に執ります。
 - a 不審者と疑わしい者の侵入の場合、注意喚起の情報伝達として特定の音楽放送(曲)「だんご三兄弟」を放送します。
 - b 不審者と確認した場合は、電動式笛を以て避難を情報伝達します。
 - c 非常放送設備によりサイレン(大音量)の発報を行います。
 - d 警察並びに緊急連絡先に通報します。
- ・ 不審者の侵入場所より遠隔保育室または園外へ避難する経路を確認します。

3. 家庭並びに地域の協力を得て取り組むべきことから

- (1) 犯罪や事故の被害から自分の身を守るため屋外での行動について家庭で話をし
て頂きますようお願いします。
- (2) 本園、父母会の組織的な取り組み
 - ・ 不特定多数来園時の行事(青葉まつり、運動会、文化祭他)にボランティア保護者による警備をお願いします。
- (3) 登園・降園の際の保護者協力要請。
 - ・ 登園の時間設定[午前8時40分~9時]と降園の際の速やかな園児引き渡
しを基本とします。一定の時刻設定により、安全確保と非常事態を最小
限にとどめることができると判断しています。

その他 **スポーツクラブや課外教室のお迎えの際にも「入園許可証」をお忘れなく。
また、終了後は、速やかに帰宅頂くことを原則とさせていただきます。**

防護用「さすまた」の二個常備、携帯催涙スプレー3個 園に常備。防犯ブザー
(whistle)は職員常備。携帯催涙スプレーは園外に出かける時は、常に携帯します。